

イエスのことば

聖書フォーラム みやま集会
2021年1月23日

出典：“The Life of The Messiah vol.2” Arnord G. Fruchtenbaum, TH.M.,PH.D.

1

イエスのことば（第10回） P.1

あなたがたは、しるしと不思議を見ないかぎり、決して信じません。（ヨハネ4：48）

- このことばは、病気で死にそうになっている息子を癒してくださいと願った人に対して、イエスが語られた
- イエスはこの人を叱っているのではない

2

文脈の確認

P.1

1. メシアはユダヤ人の王として来る
2. 神がイエスをその王であると認めた出来事 3つ
 1. ヨハネから洗礼を受けたときに神の声为天から響いた
 2. 荒野でサタンの誘惑を受けてこれを退けた
 3. 先駆者ヨハネがイエスをメシアであると証言した
3. 第三の出来事に続いて、初期の弟子5人
4. 第三の出来事から7日目、**カナ**にて最初の奇跡

3

文脈の確認

P.1

5. カペナウムに、母や弟たちと家族旅行
6. 春の過越の祭りが近づいた
7. 5人の弟子たちを連れて、エルサレムへ
 1. 神殿域で商売人たちを追い出した。事実上のメシア宣言
 2. 祭りの期間中、多くのしるしを人々の前で行った
8. ユダヤ教パリサイ派の有力者、ニコデモがイエスを訪問した

4

文脈の確認

P.1

9. 先駆者ヨハネが、ペレアで逮捕収監される
10. イエスは、ユダヤを去って、ガリラヤへ。ペレアを通るのを避けて、サマリア経由で。スカルという町のサマリア人たちがイエスをメシアとして信じた。
11. ユダヤからサマリア経由でガリラヤに戻ったあと、イエスは宣教を開始した。
12. 以上で、宣教開始までの経緯を見た。今回からは、イエスが幾つもの出来事を通して**メシアとしての権威を現わす**時期に入る。本日は、**カナ**での**病の癒し**

5

イエスの公生涯の起承転結

P.2

起：受洗から、**メシア宣言**を経て、宣教開始まで

承：**メシアとしての権威を現わす**も、

指導者層の拒否を受ける

転：**弟子訓練**

結：エルサレム入城から**十字架**、復活、昇天

6

本日のアウトライン

P.2

聖書箇所 ヨハネ4：46～54

- A) カナへの2回目の訪問 (4：46)
- B) 王室の役人の来訪 (4：46～47)
- C) イエスと役人との対話 (4：48～50)
- D) 子どもが癒されたとの報告 (4：51～54)

7

A) カナへの2回目の訪問

P.2

46節 イエスは再びガリラヤのカナに行かれた。イエスが水をぶどう酒にされた場所である。

1. イエスの最初の奇跡 (ヨハネ2：1～11)

- ガリラヤのカナで、婚礼の祝宴
- イエスと弟子たちも招かれていた
- 祝宴は数日続く。その途中でぶどう酒がなくなった
- イエスは、水がめに入れた水をぶどう酒に変えた

8

A) カナへの2回目の訪問

P. 2

46節 イエスは**再び**ガリラヤの**カナ**に行かれた。

カナで最初の奇跡をおこなった後、

紀元30年の春、エルサレムにてメシア宣言

2. メシア宣言（ヨハネ2：13～22）
3. 宣言に続いて、多くの奇跡（2：23）
4. 今回のカナへの訪問は、**2回目**→「**再び**」

9

B) 王室の役人の来訪

P. 2

46節 さてカペナウムに、ある王室の役人がいて、その息子が病気であった。

- 王室 = ガリラヤとペレヤの領主、
ヘロデ・アンテパスの王室
- 先駆者ヨハネは、ペレヤで拘束されていた
- その王室の役人の息子が、病気であった

10

B) 王室の役人の来訪

P. 3

47節 この人は、イエスがユダヤからガリラヤに
来られたと聞いて、イエスのところに行った。

そして、**下って来て**息子を癒してくださるように
願った。息子が死にかかっていたのである。

- カナからカペナウム、標高差630メートルの下り
- 役人は、息子を癒しに来てほしいと願った

11

C) イエスと役人の対話

P. 3

48節 あなたがたは、しるしと不思議を見ないか
ぎり、決して信じません。

- 「あなた」ではなく、「あなたがた」
- イスラエルの民、ユダヤ人全体を指す
- イエスの真意は、役人の動機を明らかにすること

12

C) イエスと役人の対話

P. 3

役人は、「そのとおりです。何かしるしを見せてください」とは言わなかった。

役人の答えは・・・

**49節 主よ。どうか子どもが死なないうちに、
下って来てください。**

役人の動機は、どこにあるか？

13

C) イエスと役人の対話

P. 3

癒しを求めて来る人の動機として考えられるのは・・・

- ① 信者としての動機・・・すでにイエスをメシアとして信じている。そして、イエスなら息子を癒すことができると確信している。
- ② 確信をもちたいという動機・・・①ほどの確信はない。息子の癒しを通して確信を持ちたいと思っている。
- ③ 不信者としての動機・・・イエスがメシアかどうか、疑っている。しかし、イエスは多くの奇跡をしているとの評判だから、本当なら癒してもらいたい。

14

C) イエスと役人の対話

P. 3

不信者は、その場でのしるしを求める傾向がある。
役人は、そうはしなかった。

イエスは役人の動機を明らかにするために、
次のことばを発する

50節 行きなさい。あなたの息子は治ります。

15

C) イエスと役人の対話

P. 3

- 当時のユダヤ教指導者たちが癒しを祈るとき：
病人の枕元に来て、手を置いて祈る
- 役人の想像・・・イエスもそうして癒すのだから
だから、イエスに「来てください」と願った
- イエスは、病気の癒しに関して、メシアとしての
権威を現わした。

16

C) イエスと役人の対話

P. 3～4

• 病気の癒しに関する **メシアの権威**：

病人のもとに行く必要なし、治るとの一言

• このような **遠隔での癒し**：

当時のラビたちの記録にも、旧約聖書にもなし

• 役人は、イエスのことばを信じて、帰っていった

彼の動機は、**信者としての動機**であった

17

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

51～53節 彼が下っていく途中、しもべたちが彼を迎えに来て、彼の息子が治ったことを告げた。

こどもが良くなった時刻を尋ねると、彼らは

「**昨日の**第七の時に熱が引きました」と言った。

父親は、その時刻が、「あなたの息子は治る」とイエスが言われた時刻だと知り、彼自身も家の者たちもみな信じた。

18

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

「**昨日の**第七の時に熱が引きました」

- 役人は、イエスと対話した日は、カナで一泊
- イエスのことばを信じて、安心してその日はカナに泊まった
- 翌日カナを発って、カペナウムへの帰途に

19

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

彼が下っていく途中、しもべたちが彼を迎えに来て、彼の息子が治ったことを告げた。

- 家のしもべたちが、主人に朗報を知らせるために向かって来ていた

20

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

こどもが良くなった時刻を尋ねると、彼らは
「昨日の第七の時に熱が引きました」と言った。
父親は、**その時刻が、「あなたの息子は治る」と
イエスが言われた時刻**だと知り、

- イエスの癒しは、**遠距離かつ即時の癒し**であった

21

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

彼自身も家の者たちもみな信じた

原文直訳、「そして彼は信じた、彼自身が、そして彼の家の全体が」

- 役人は、イエスのもとに来たとき、すでにイエスを信じていた
- イエスのことばを信じて、さらに信仰は成長した
- 遠距離かつ即時の癒しを見て、さらに成長した
- そして、彼の家の者全員が信じて、救われた

22

D) 子どもが癒されたとの報告 P. 4

54節 イエスはユダヤを去ってガリラヤに来てから、これを**第二のしるし**として行われた。

- 2：11 「イエスはこれを**最初のしるし**としてガリラヤのカナで行い」・・・水をぶどう酒に変えた奇跡は、イエスの**最初の奇跡**であり、**カナでの1回目の奇跡**
- 2：23 その後、イエスは、エルサレムにて奇跡をおこなった
- 「**第二のしるし**」・・・**カナでの2回目の奇跡**

23

2月の集会予定

2月13日（土） イエスのことば 第11回

「今日、この聖書のことばが実現しました」ルカ4：21

2月14日（日） 新約聖書の中の祈り 第17回

2月20日（土） 新約聖書の中の奥義 第8回

「内住のメシアの奥義：メシアの現在の働き」

2月28日（日） 新約聖書の中の祈り 第18回

24